

行政C
(職務経験者採用)



産業労働部 産業政策課
デジタルイノベーション戦略室
デジタルイノベーション戦略班
主査 佐藤 信吾

経歴：採用6年目

H30年 産業労働部 産業政策課
デジタルイノベーション戦略室
デジタルイノベーション戦略班
H27年 入庁
企画振興部 情報企画課
情報基盤・システム管理班
H18年～26年 民間企業勤務
(金融関連のシステム開発に従事)

ある日のスケジュール

8:25 出勤
8:30 朝礼
9:00 メールチェック、事務処理、
資料作成等
10:00 Web会議システムを使用し、
転職イベントの打合せ
11:00 企業訪問同行の準備
12:00 昼食
13:00 県外からのお客様の企業訪問
へ同行
17:15 帰庁、班内へ状況報告
事務処理、明日の業務準備
18:30 退庁
19:00 夕食
20:00 風呂
21:00 子供の寝かしつけ
22:00 趣味の時間
24:00 就寝

わたしの職場はこんなところです

県内の情報技術の活用促進と、それを支える県内情報産業の振興を図ることを目的として平成30年4月に新設された部署です。職員構成は若い世代が多く、日々県内情報産業の振興を図るために様々な事業を推進するとともに、先進技術の情報収集にも積極的に取り組みながら、タフに活動しています。

国のデジタル庁創設などもあり、これからますます注目が集まるため、非常にやりがいがある職場だと思います。

わたしは今、こんな仕事をしています

ICT人材の確保・育成担当として、首都圏在住の優秀な人材が秋田に転職できるように転職フェアを実施したり、企業内のICT人材育成を促進するためのワーキンググループや県内中高生がICT等先進技術に興味を持ってもらえるイベントの開催業務を行っています。また、他課と連携し、ICT企業の誘致にも取り組んでいます。

最近では情報関連企業のほかにも、アニメ制作会社(某映画のスタッフロールにも出ました!!)などの誘致にも携わることができました。

秋田県のここが好き！

やはり自然が豊かなところが一番だと思います。自宅周辺を散歩するだけでも季節の移ろいを感じることができるのは素晴らしいことだと思いますし、季節ごとにさまざまな食文化を楽しめるのもいいですね。私は秋田県出身ではないので、方言が聞き取れないこともしばしばありますが、秋田の方言で好きな言葉は「なんもだ(気にしないで)」です。

民間での勤務経験は、県職員の仕事にどう活かしていますか？

前職の経験を活かして庁内のシステム管理や職員への端末の使用方法のサポートができたり、現在も企業と接する際のちょっとした専門用語などのやり取りで困ることが少ないため、スムーズなやり取りができていると思います。

また、民間で経験してきたQCD(品質・コスト・納期)を意識した仕事の進め方については行政でも大切にすべき考え方ですので、県職員として業務を推進していく上でも民間目線での視点は常に持ち続けていきたいと思っています。

採用されて6年、どんな変化、成長がありましたか？

入庁当時は文書の作成の仕方や庁内の様々なルールに戸惑うこともありましたが、だいぶ慣れてきたように思っています。

今後は、今まで携わってきた分野とは異なる業務にも関わり、仕事の幅を広げ自身の成長に繋げていきたいと考えています。

採用試験の準備は、どのようにしましたか？

自分の考えや思いを形(文章化・言語化)にすることができるようになるといいと思います。県職員になると、民間の時以上に分かりやすく相手に伝えることが重要になってきますので、普段から自分の意図がしっかり伝わるように意識することが大事だと思います。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

県職員としての仕事は思っている以上に様々な業務があり、非常に多岐にわたります。どんな業務でも最終的に県民の方々の生活に直結しており、一人ひとりの頑張りや秋田県の活性化につながると感じますので、今までの経験を活かしたい方はぜひとも秋田県庁への就職を検討して欲しいです。

色々な経験をお持ちの方をお待ちしております！！